

あなたは“何料理派”？

～食・料理の意識と実態から7つの料理タイプに分類～

最近、料理をしていますか？毎日料理をしている方、たまにする方、自宅ではほとんど料理しない方、いろいろでしょう。また、料理に対する考え方も様々です。家族の健康のため、とにかく食費を安く上げるため、自分の趣味のため…等々。都市生活研究所では、食・料理の意識と実態について調査を行い、女性を7つの料理タイプに分けました。

料理に手間をかけたくない？ 食・料理に対する意識や実態は人それぞれ

手間をかけなくなってきたが、料理好きは今も多数派

都市生活研究所が1990年から3年ごとに実施している調査によると、「調理の手間はかけるほうである」と回答する女性の割合は、徐々に減っています。その一方、「料理をするのは好きだ」という割合の変化は小さく、2017年でも約7割の女性が料理を「好き・やや好き」と回答しています。なかなか料理に手間はかけられないものの、本当は料理好きという人も多そうです。

図1. 調理の手間、
「A.かからないほうである」「B.かけるほうである」

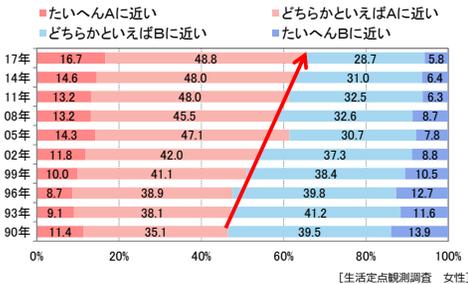
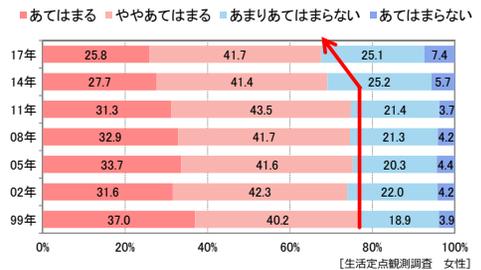


図2. 料理（調理）をするのは好きだ。



料理好きでも、意識はさまざま

30-60代女性を対象とした「料理に関する調査」において、「料理が好き・やや好き」と回答した人のうち、「こだわりのある料理より手軽に作れるメニューを選ぶ」人は約40%、また「惣菜を利用して料理を簡便化することに抵抗がない」は約44%と、「料理好き」といっても、全員が丁寧に時間をかけて料理をしたいわけではなく、色々な考えの人がいることが分かります。

そこで、食・料理に関する意識と実態について調査を行い、その特徴から女性を7つの食・料理タイプに分類しました。次ページではその特徴をご紹介します。

図3. 「料理が好き・やや好き」と回答した人の料理意識

